

生産性向上支援訓練カリキュラム

D. データ活用	クエリを活用してデータ更新(追加・更新・削除)ができる！
データベースソフト活用	データベースを活用したデータ処理(応用編)

コースのねらい	業務の効率化を目指し、データベースソフトの機能であるデータ間の関係性を利用した処理や目的にあったデータの抽出・更新処理、ユーザの入出力画面の作成方法を習得する。
----------------	--

対象	(全層向け) ・データ更新用のクエリを作成したい方 ・フォームの作り方を学びたい方
-----------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	
	1	リレーションシップと参照整合性	(1) リレーションシップとは アクセスの特徴であるリレーションシップについて学びます。 (2) 参照整合性とは リレーションシップを設定する時に考慮すべき「参照整合性」「フィールドの連鎖更新」「レコードの連鎖削除」について学びます。 (3) リレーションシップ／参照整合性の設定 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 (4) 参照整合性の確認 データを変更、削除した後に関連付けられたテーブルのデータの確認します。	2.0
	2	クエリの活用	(1) 複数テーブルからのクエリ作成 リレーションを組んだことにより作成できるクエリを学びます。 (2) アクションクエリ アクションクエリとは何かを学びます。 (3) 更新クエリ 特定の条件に合致するレコードのフィールドをまとめて変更できる更新クエリを作成します。 (4) テーブル作成クエリ 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 (5) 削除クエリ 特定の条件に合致する複数のレコードを、まとめて削除できる削除クエリについて学びます。 (6) 追加クエリ 特定の条件に合致する複数のレコードを、まとめて別のテーブルに追加できる追加クエリについて学びます。	2.0
	3	フォームの活用	(1) メインフォーム／サブフォーム 関連付けられたことによるテーブル、クエリ等から作成できるメインフォームとサブフォームを作成します。 (2) コントロールの種類 ラベル・テキストボックス・チェックボックス・コンボボックスの各コントロールについて学びます (3) フォームの編集 作成したフォームをレイアウトビュー・デザインビューで編集し、コンボボックスも作成します。 (4) 入力しやすいフォームに タブストップとタブオーダーを設定し、より入力しやすいフォームに編集します。	2.0
	演習	予め用意したデータベースで、各自リレーションシップの違いによつてのデータ扱いの違いなどを確認。アクションクエリとフォームも実際に作成しながらの訓練になります。	基本項目に含む	
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント
リレーションを設定することにより複数のテーブルをつなぎます。同一項目の複数入力・入力ミスを軽減し、作業効率を目指します。誰もが入力しやすいフォームを作成します。

備考
・Windows 10 or 11 Office 365